　各郡市、研究委員のみなさんへ

　先日の研究委員会で問題解決的な学習をどのように進めるかの協議で、課題の難易度を２段階に設定し実践していくことになりました。時間的に制約のある中で問題解決的な学習を取り入れていくので、一つの内容の中で２段階の課題を設定できるところもあったり、内容を超えて学年などで（例：１年生で第１段階、２年生で第２段階）設定したりすることが考えられます。以前に作成した３年間を見通した年間指導計画を見直していただき、どこに、難易度を考えた２段階の問題解決的な学習を入れるかを検討してください。また、担当している内容で、問題解決的な学習を導入する題材については以下の様式に沿って題材指導・評価計画を作成してください。

指導と評価の計画の◇のところには**難易度をどのように変えて２段階としているかが分かるように文章表現をしてください**。また、協働的な活動を入れる場合は学習内容の所に、どのような**協働的な活動**であるかが分かるように記入してください。

この計画を基本に、毎時間の指導案やワークシートの検討ができるようにしていきます。次年度の実践や最終的な大会資料の原案となるものとして作成して下さい。

なお、提出時には、三年間を見通した年間指導計画も併せて提出（再度）下さい。

提出方法　メールにて、添付ファイル（様式2）で送付下さい。※ページ数は問いません

提出先　技術分野　　高松市立桜町中学校　国重　メールアドレス　　　to47535@edu-tens.net

　　　　家庭分野　　高松市立勝賀中学校　長谷　メールアドレス　　　as50209@edu-tens.net

　　　　※この件に関する問い合わせ先、上記同アドレスへ。

提出期限は、２月に開催する理事会ごろになります。期日は追って連絡します。

様式２

（生物育成に関する技術）題材指導・評価計画

１　題材名

　「葉物野菜を育てよう」　Ｃ(1)ア、(2)

２　題材の目標

　・目的に適した作物を栽培するための栽培計画を立てることができる。

　・○○

　・○○

　・日々の管理作業などを通して記録を残し、自分の考えを整理することで、作物の栽培を適切に評価・検討・活用できる力を身につける。

３　題材の評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 生活や技術への  関心・意欲・態度 | 生活を工夫し  創造する能力 | 生活の技能 | 生活や技能についての  知識・理解 |
|  | 目的とする泳ぶつ育成に必要な条件を明確にし、社会的環境的および経済的側面から、種類、資材、育成期間等を比較検討した上で、目的とする生物の成長の変化をとらえ、適切に対応を工夫している。 |  |  |

４　指導と評価の計画（全11時間）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時 | 〇ねらい  ・学習活動  ◇課題解決の段階 | 評価基準・評価方法 | | | |
| 生活や技術への  関心・意欲・態度 | 生活を工夫し  創造する能力 | 生活の技能 | 生活や技能についての知識・理解 |
| １ | 〇導入  ・生物を育てる目的を知る。  ・ | 作物を育てる技術が私たちの生活とどのように関わっているかに興味を持ち、その関わりについて調べようとしている。　(授業中の発言、活動、ワークシート) |  |  |  |
| ２ | 〇葉物野菜の育成計画を立てよう  ・目的に・・・  ※グループでの活動を中心に、協働して取り組ませる。（協働）  ◇第一段階（自分に関すること）  我が家の食材にする、安全な葉物野菜を育成しよう。 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| ３ | 〇葉物野菜の育成と管理　その１  ・  ◇第二段階（他者に関すること）  販売されているものと同等に生育した葉物野菜を育成しよう。 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 11 | ○葉物野菜育成のふり返りと栽培マニュアルの作成 |  |  |  |  |

様式２

（家族と家庭生活）題材指導・評価計画

１　題材名

　「幼児の生活と遊び」　Ａ(3)イウ

２　題材の目標

　・幼児の遊び道具の製作や幼児と触れ合うなどの活動を通して、幼児に関心をち、幼児の心身の発達や遊びの意義について理解し、幼児との関わり方を工夫できるようにする。

　・○○

　・○○

３　題材の評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 生活や技術への  関心・意欲・態度 | 生活を工夫し  創造する能力 | 生活の技能 | 生活や技能についての  知識・理解 |
| 幼児の心身の発達や遊びに関心をもって幼児の観察や遊び道具の製作、幼児と触れ合う活動に取り組み、幼児と適切に関わろうとしている。 | 幼児の心身の発達に応じた遊び道具や遊び方、幼児との関わり方について考え、工夫している。 | 幼児の遊びと心身の発達との関わりについての観点に基づいて観察し、整理することができる。 | 幼児の心身の発達の特徴と遊びの意義について理解している。 |

４　指導と評価の計画（全12時間）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時 | 〇ねらい  ・学習活動  ◇課題解決の段階 | 評価基準・評価方法 | | | |
| 生活や技術への  関心・意欲・態度 | 生活を工夫し  創造する能力 | 生活の技能 | 生活や技能についての知識・理解 |
| １２３ | 〇導入  ・幼児の心身の発達の特徴について理解することができる。  ・ |  |  |  | 幼児の身体の発育や運動の機能、言語、情緒、社会性について理解している。　(学習カード、  ワークシート) |
| ４５ | 〇幼児の心身の発達に応じた遊び道具の製作計画を工夫することができる。  ・目的に・・・  ※同じ課題のグループで発表し合い、計画を見直す。（協働）  ◇第一段階（自分に関すること）  幼児の発達に応じた遊び道具について、課題をもって計画を立てよう。 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| ８ | 〇製作した遊び道具を用いた遊びの計画を立てることができる。  ※遊びの計画をグループで発表し合う。（協働）  ◇第二段階（他者に関すること）  幼児との遊び方や関わり方の工夫を考えよう。 |  |  |  |  |
| ９  10 | 〇幼稚園を訪問し、幼児を観察したり、製作した遊び道具を用いて遊んだり、幼児との関わり方を工夫したりすることができる。  ◇第二段階（他者に関すること）  遊びの計画を基に幼児と、遊んだり、触れ合ったりする。 |  |  | 幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び方、幼児との関わり方について自分なりに工夫したり、観察したことを生かして考えたりしている。 |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 12 | ○幼児の触れ合い活動についてふり返り、幼児との関わり方を工夫する事ができる。 |  |  |  |  |